

令和5年度（2023年度）  
第4回北海道政策評価委員会  
会 議 録

日 時：令和6年（2024年）2月9日（金）15:00～15:10  
場 所：北海道第二水産ビル4階 4S会議室

**【出席者】**

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
会 長	石井 吉春	北海道大学公共政策大学院客員教授
副会長	渡部 要一	北海道大学大学院工学研究院教授
委 員	大賀 京子	北海道教育大学教育学部札幌校准教授
委 員	葛西 さとみ	行政書士カサイ・オフィス
委 員	柏木 淳一	北海道大学大学院農学研究院講師
委 員	嘉藤 裕一	公募委員
委 員	厚井 高志	北海道大学広域複合災害研究センター准教授
委 員	武岡 明子	札幌大学地域共創学群教授
委 員	千葉 智	千葉智公認会計士事務所所長
委 員	中津川 誠	室蘭工業大学大学院工学研究科教授
委 員	中前 千佳	(一社)北海道開発技術センター上席研究員
委 員	水島 淳恵	大阪経済大学経済学部教授
委 員	村上 裕一	北海道大学大学院法学研究科准教授

**【事務局(北海道)】**

北海道総合政策部計画局長

笠井 敦史

北海道総合政策部計画局計画推進課長

佐々木 敏

ほか

## 1 開 会

## 2 議 事

### 令和5年度 政策評価の結果（案）について

#### ・ 公共事業評価（再評価（追加分））

#### 【石井会長】

- ・ 事務局から資料に基づき説明をお願いします。

（事務局より資料2、参考資料1、参考資料2に基づき説明）

#### 【石井会長】

- ・ 公共事業評価専門委員会委員長の渡部副会長から審議経過などの説明があればお願いします。

#### 【渡部副会長】

- ・ 公共事業再評価（追加分）の審議経過について説明する。
- ・ はじめに、再評価（追加分）の実施が必要との報告のあった道路改築事業費・鷹栖東神楽線について、専門委員会として1月末にヒアリングを実施した。
- ・ ヒアリングでは様々な意見があり、本日、ヒアリングの結果を踏まえた説明があった。事業の進捗状況、事業を推進する上での課題、事業の達成見込みなどの評価の視点に加え、変更の妥当性など厳格に審議を行った。
- ・ 特に、本日の専門委員会では、工事で発生する土砂搬出先について、搬出先の所有者から安全性等を考慮して、搬入可能量の削減要望があり、当初の搬出先での受入が不十分になってしまったこと、新たな搬出先の確保を行ったものの時間を要したこと、更に運搬距離の増に伴い事業費が増えたことについて説明があった。  
また、資材、労務単価の上昇による自然増については、近年の物価上昇等の影響を受け、大きな増額となる場合がある。特に事業終盤においては、全国平均値である建設工事費デフレーターを使用した自然増の算出ではなく、地区の単価をベースに、これまで以上に、事業費増額の精度を高めるよう、今後の事業執行上も管理するよう意見が出たところである。
- ・ 審議の結果だが、事業の必要性は非常に高いものと判断され、「事業を継続することは妥当」との結論に至った。
- ・ 公共事業評価に関する審議経過については、以上。

#### 【石井会長】

- ・ ただ今の説明について質問、意見等があればお願いしたい。

《質問等なし》

#### 【石井会長】

- ・ 中身を見ると、実質的に物価上昇に関わる増額がかなりあったことと思う。今後もそのようなケースが出てくる可能性はあり、管理をしっかりすること、物価上昇に

よる変動をどう扱うかという両面での検討が必要である。

- ・ 「10億円の壁」を突破しやすくなる可能性も高い。物価上昇による影響は、ある意味、議論してどうにかなる話ではないケースが大半である。是非とも、上手に扱う手法を検討いただいた方がよいと感じた。

**【渡部副会長】**

- ・ ご指摘のとおり、全ての事業で近年、事業費が上昇しており、自然増が大部分を占める。この点については、今後の事業評価の中でもしっかりと考慮した上で判断していきたい。

**【石井会長】**

- ・ その他意見がなければ、公共事業評価の結果に関する報告については、案のとおり了承することによる。

《異議等なし》

#### **4 閉会**

**【事務局（総合政策部計画推進課）】**

- ・ 本日審議いただいた「令和5年度 政策評価の結果」については、2月下旬に開催する道議会の各常任委員会に報告するほか、行政情報センター、各振興局の行政情報コーナー等で縦覧に供するとともに、道のホームページへの掲載など、多くの道民の皆様にご覧いただけるよう公表する。